

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
静岡県 静岡市	220001 221007		H21～23年度	H21年度
活性化計画の区域				
静岡県 静岡市 水見色地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
地域農産物の販売額の増加	27.93%	91.65%	328.14%	

(コメント)

地域農産物の販売額は目標を上回り、目標を達成した。

○計画時の地域農産物の販売額 (単位：千円)

	H18	H19	H20	合計
販売額	7,062	9,154	9,928	26,144

○計画中の地域農産物の販売額 (計画と実績) (単位：千円)

	H21	H22	H23	合計
計画	10,403	11,132	11,911	33,446
実績	12,103	19,318	18,684	50,105

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
農林水産物直売・ 食材提供供給施設	農林水産物加工、販売施設の整備 直売施設 1棟 (107.48㎡)		きらく市運営委員会	
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
きらく市運営委員会	平成21年度	平成21年度	平成21年11月21日	
事業の効果				
加工、販売スペースの整備により、地場産物を直売するだけでなく、地域農産物等を加工し新商品を開発するまでの流れを構築した。 また、販売スペースを食の体験の場としても利活用し数多くのイベントを実施したことで、販売額とともに地域住民以外の利用者数が大幅に増加し、交流人口の増加に成功したと言える。				
直売施設の利用者実績				
H19～20平均	H21	H22	H23	H21～23 平均
5,300人	8,200人	14,100人	13,100人	11,800人

3 総合評価

(コメント)

当施設を拠点として、季節に応じて地域資源を活用した各種イベント（食や物作り体験、ほたる鑑賞、高山・市民の森ハイキング等）を数多く実施するなど、都市住民との交流に重点をおいた努力が見られる。

これには水見色地区住民の協力が不可欠であり、地域全体の協力的な体制により実施できている。

また、ホームページを開設し、観光客誘致の為に積極的な宣伝活動にも努めている。

さらに、利用者のニーズに応えるべく新商品の開発に力を注ぐなど、顧客を確保する為の熱意も十分に感じられる。

このような地道な取り組みから『水見色』の知名度が上がり、売上及び交流人口の増加や販路の拡大にも繋がっている。

今回、個々の農家の収入状況等まで確認しなかったが、今後もこのような姿勢を継続、継承していくことで、更なる地域の活性化に繋がると期待したい。

4 第三者の意見

(コメント)

第一段階である売上実績や利用者数の目標数値は達成できていると評価します。

また、いろいろなイベントや地域の事業へ積極的に参加していることが見受けられ、地元町内会にとって必要なグループに成長したと思います。

大学や研究機関と連携して商品開発や勉強会を開催していますが、これが「逸品だ」という商品が未だできていません。

「水見色」という地元をPRできる「逸品」を作る事を望みます。

最後にメンバーの若返りと次世代への継承がスムーズに進むことを期待します。

(JA静岡市 理事 望月輝男)

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果）を幅広く記入すること。